



川崎市立川崎病院
シンボルツリー

くすの木

平成17年11月21日発行(第8号) 発行責任者:鈴木 康夫 編集:広報委員会
事務局:川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>

川崎市立川崎病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

【患者さんの権利】

1. 生命の尊重と、人格を尊重した医療を受けることができます。
2. 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
3. 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
4. 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
5. ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師の意見を聞くことができます。
6. 診療上の個人情報保護され、その秘密は守られます。

AEDを知っていますか?

AEDをご存知ですか?これは、自動体外式除細動装置のことで、重症の不整脈による心停止状態は、いつ訪れるか分かりません。空港や学校、スポーツ施設で誰かの命をみんなで救うための機械がAEDです。

平成16年7月から、一般市民によるAEDを用いての除細動を行うことができるようになりました。

若くて健康な人でも突然死することがあります。この突然死の原因の一つに、重症な不整脈(心室細動)があります。でもこの心室細動の患者さんは救うことができます。その方法はなるべく早く電気ショック(除細動)を行うことです。救命手当の方法としてよく知られているのは人工呼吸や心臓マッサージですが、これだけでは心室細動を元に戻すことはできません。心停止(心室細動)の救命率を見た場合、心停止後の除細動が1分遅れるごとに7%から10%低下するといわれています。

AEDとはAutomated External Defibrillator の略で自動体外式除細動装置のことです。コンピューターを内蔵し、電極を胸に貼ると心電図を自動的に解析し、機械が電気ショック(除細動)が必要かどうかを判断してく

れます。ですから、この機械があれば誰でも人の命を救うことができるのです。

AEDを用いて一般市民が除細動を行うことができるようになったのは、もし近くにAEDがあり、心停止から5分以内に除細動が行われれば救命の可能性は飛躍的に上昇すると思われるからです。

最近では日本でも、空港、役所、学校、スポーツ施設など、人がたくさん集まるところに設置されるようになってきました。院内でも看護師を対象としたAEDの講習会を開催しました。これは、夜間の急変時に当直医が到着するまでの間に、講習を受けた看護師がAEDを用いた除細動を行えるようにするためです。

また、一般市民を対象とした講習会も全国で開かれています。当院でも今後数箇所にAEDを増設する予定です。
(麻酔科 櫻井裕教)

お待たせいたしました

新MRI装置の設置工事が終了しました

当院には2台のMRI（磁気共鳴画像）装置があります。9月から、そのうち1台を新機種とする撤去・設置工事を行っていたため、MRIは1台のみが稼働する状況となっておりました。

検査の予約期間の長期化など皆様にはご迷惑をおかけいたしました。10月24日にすべての工事が終了し、2台のMRIでの稼働を始めました。

当院では、診断の質等の向上を目的として、平成6年に導入された2台のMRI装置のうち、1台を新機種に更新しました。この切り替え工事期間中は1台のみが稼働していたため、ご不便をおかけしていましたが、10月24日から通常の検査が可能となりました。ご協力ありがとうございました。

この新たなMRI装置は、患者さんに負担の少ない方法で血管撮影が出来たり、手術前に病巣の広がりやチェックできる(DWIBS)などの特殊な検査に威力を発揮します。

また、脳・脳血管、脊椎・脊髄、関節や腹部臓器はもちろん、心臓や乳腺などの従来の機種では検査できなかった部位の撮影も可能になりました。

これらの検査効率の向上によって、より高度な検査が



可能になるとともに、長期に及んでいる予約待ち期間の短縮にも期待しています。

さて、現在では一般的になった、この「MRI」や「CT」とは、何の略で、どのよ

うな検査をするものかをご存知ですか？



「MRI」はMagnetic Resonance Imaging（磁気共鳴画像）の略で、「CT」はComputed Tomographyの略語です。それぞれの機能は異なっており、「CT」で撮影すると、X線を使用してコンピューターで画像処理した「水平方向の輪切り写真」になります。

「MRI」は、磁石のトンネルに入って“共鳴”した状態を写真に表したもので、撮影する場合、原則としてどのような方向でも検査することが可能です。「そうすると

「MRI」だけでいいのではないか」と思われる方もおいでですが、それぞれに特徴があり、病気の時期や種類、症状などから検査方法が選択されます。

この点については医師にお任せいただき、疑問・質問は診察のときに遠慮なくお尋ねください。

ボランティアを募集しています

川崎病院では、外来案内や小児科病棟での絵本の読み聞かせ、院内図書などさまざまな場面でボランティアの方が活躍しています。

協力していただける方は、ボランティアコーディネーター中塚(8N病棟)まで御連絡ください。



接遇教育を進めています

当院では、院内の各箇所に投書箱を設置し、病院を利用される方々からご意見をいただいています。皆様からいただくご意見は、設備の改善要望であったり職員への励ましのお言葉であったりしますが、職員の接遇態度に関する厳しいものも多くお寄せいただいています。

皆様からいただく厳しい御意見にお応えしてより良い病院づくりを進めていくために、院内に接遇教育委員会を設置し、職員の接遇教育を進めています。

この委員会は、院内の全部署の各職種で構成し、接遇研修会の開催等を行っています。

平成17年の10月には、**全部署・全職員から「接遇標語」を募集しました。**

「温かさ と 心の通う 病院づくり」

「広げよう挨拶 交わそう笑顔」

「人と人とのつながりは 互いに気遣う 思いやり」

…等の180作品が応募されました。これらの中から審査を行い、12月28日に接遇標語を発表いたします。選ばれた標語でポスター作成などを行い、これからの接遇教育に役立てていきます。

今後とも、よりよい病院づくりのため、接遇教育委員会が中心となって職員の接遇教育を進めてまいります。さらなる取り組みを進めていくため、投書箱等へ皆様からのご意見をお寄せください。よろしくお願いいたします。

(接遇教育委員会)



部門紹介

泌尿器科

泌尿器科というと、「受診するのが恥ずかしい」と敷居が高いように思われるかもしれませんが、でも、私たち泌尿器科外来・病棟スタッフは、当院の病院理念である「病気ではなく病人を診る患者さん中心の医療」に基づいて、4人の専門医を中心に懇切丁寧に外来診療、入院・手術にあたっています。

おしっこに関する心配ごと(血尿、出にくい、頻尿、もれる、痛いなど)、前立腺がんの検診相談、結石、EDなどでお悩みのときにはどうぞ受診して下さい。

また、腎結石を切らずに治す体外衝撃波治療も当科で行っています。

泌尿器科部長 中村 薫



検査科

医療技術の進歩により、人間の感知能力を超えた生体情報が得られる今日、病院で行われる検査には、患者さんから採血された血液、尿等の一般的検査や、患者さんから直接情報を得る心電図、脳波、超音波検査、そして今話題になっているアスベストによる中皮腫の診断にかかせない喀痰からの細胞診検査、血液のドロドロ・サラサラなどの粘張度をさらに詳細に分析する血液成分検査などがあります。

当科では、常に精度の高い検査と、技術の向上を図るとともに、24時間365日体制で休むことなく、より高度で安全な医療をめざした臨床支援を行っています。



検査科部長 杉浦 仁

川崎病院の情報や診療科・専門外来などについては、当院のホームページでご案内しております。

ホームページでは、その他にも新しい情報や皆様の健康に役立つ情報をお届けしていますので、

ぜひ！アクセスしてください。

<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawsyo/home/home.htm>



季節の
one point

腰痛のおはなし



暖かい季節には軽かった腰痛や関節痛も、寒い季節になると強く出てきやすくなります。今回の季節のワンポイントは、腰痛症・関節痛症について整形外科の野村医師にお話を伺いました。

腰は、人類が2本足で立ち始めた時からの宿命で、体の要として一番負担がかかりやすく、ちょっとしたことで腰痛が発生することもあります。

ほとんどの方が一生に一度はぎっくり腰(急性腰痛)を経験するといわれ、整形外科外来で患者数が増えているのが腰痛関連の疾患です。

原因として、椎間板・椎間関節性、筋・筋膜性、姿勢性等いろいろありますが、腰痛が出た場合は自分で一番楽な姿勢でじっと横になることが大切です。

急性の場合アイスノンなどの冷却パックで一番痛い場所を冷やすとかなりの鎮痛効果が期待できます。逆に入浴や使い捨てカイロなどで暖めることも鎮痛効果があります。もし痛み止めがあれば飲むのがベターでしょう。少し楽になって動けるようになってからも要注意です。腰痛が残る場合、完全に取れるまではコルセットをして腰に負担をかけないことが大切です。1~2日経ってもあまり痛みが引かず、中腰が辛く、靴下をはくのも大変という痛みなら、病院を受診してください。安静時

痛がある場合は、内臓からの可能性も考えられます。

また、腰部から太腿の外側あるいは下腿の外側に及ぶ「しびれ」や痛みがある場合は、腰椎椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛が考えられますので、早めに病院を受診して下さい。

幸い、腰痛がとれても、普段から予防としては腰痛体操や生活改善を充分にしておくことが重要になります。腰痛体操はいろいろな方法がありますが、腹筋運動や背筋運動が代表的です。運動は無理せず軽く始めるのがよいでしょう。腹筋は肩が床から10cm、背筋は胸が10cm浮く位で2~3秒止めて1回とします。最初は5~10回位から初めて、20~30回に増やします。最低1~2か月以上続けてください。確実に効果を実感できます。

次に、生活の中でも腰に負担がかかる動作を避けることが大切です。物を持ち上げるときは中腰で上げず、腰を下ろしてから持ち上げるようにします。掃除では掃除機のホースを長くして中腰にならないようにします。洗面でも同様です。毎日の通勤などで手に持つ鞆もばかになりません。軽い鞆を選んだり、中身も軽くしたりする工夫が大切です。もし、腰痛が出てきたら、早めにコルセットをして悪化させない注意も必要です。



進めています!

院内の緑化と絵画展示で こころよい療養環境づくり

快適な療養環境づくりをめざして

当院では、通院される患者さんや市民の皆さんが、「病院」という緊張感から少しでも開放された癒しの空間になるようにと、さまざまな療養環境づくりを行っています。

絵画や書

まず、廊下やエレベーターホールをはじめとする全フロアには絵画や書が飾られています。



この飾られている絵画等のほとんどは、市民の皆さんからの寄贈によるものです。特に1階は、ホールや廊下などさまざまな場所に絵画が展示され、ゆっくりと鑑賞される患者さんやご家族の方々もいらっしゃいます。

たっぷりの緑と季節感豊かな花々

病院敷地内の外構周囲の植栽についても、シルバーセンターのご協力をいただき、季節感豊かな緑や花が楽しめるよう毎日のように手入れをしています。



この病院通信のタイトルにもなっている「くすの木」をはじめとする木々は、病院

の敷地を囲んで入院患者さんが集う中庭を心地よい空間にしています。

さらに、病院の正門脇の花壇では、季節に合わせて春はチューリップ、夏はひまわりなどが豊かな彩を添えています。

院内の植栽

先日「院内に緑の植栽を置いてほしい」という投書を患者さんよりいただきました。

病院としては従来から、土や植物からの細菌感染の可能性を考え、生の植栽は院内には置かない方針としています。

本物にはかないませんが、目の保養になればと造花等で代用しておりますので、ご理解をいただきますよう、お願いいたします。

コンポスト お分けします

川崎病院では、生ゴミから堆肥(コンポスト)をつくり、院外の施設・団体の方にも無料でお分けしています。

コンポストを希望される方は、当院の庶務課管理係までご連絡ください。



ニューイヤーコンサートに おいでください

当院では、入院中の患者さんにより良い療養生活を送っていただくため、また、少しでも心の励みになればと考えて、毎年ニューイヤーコンサートを開催し、たくさんの方からご好評をいただいています。

これまで、さまざまな方がコンサートの趣旨に賛同され、ボランティアとしてご出演されました。

12回目の開催となる今年は、新たに川崎の顔となった「ミュージア川崎」のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団にご出演いただけることとなりました。皆さんがいつも利用している1階の待合ロビーが、コンサート会場に大変身します。

川崎市立川崎病院で素敵な音楽を聞いて、新春気分を満喫してください。年齢を問わずに楽しんでいただけます。

患者さんをはじめ、どなたでも鑑賞していただけますので、鑑賞をご希望の方は、コンサート当日、直接会場へお越しください。

日時	平成18年1月18日(水)
開演	午後6時開演
場所	外来棟・1階ロビー
出演	東京交響楽団
入場	無料

お問い合わせ 川崎病院庶務課庶務係
233 - 5521 内線3543



編集後記

秋も深まり、冬の気配も感じられる今日この頃ですが、いかがお過ごしですか? 「くすの木」第8号をお届けいたします。季節のワンポイントなど皆さまに楽しんでいただける紙面づくりを心掛けていきますので、どうぞご愛読ください。
(広報委員会)